

# #2292

# DSD-EX Dead Short Discharger

この度は、イーグル・DSD-EXディスチャージャーをお買い求め頂きまして誠に有難うございます。

バッテリー電圧を引き上げるための放電方法であるデッドショート（放出性とバッテリー電圧を高める放電方法）を行う状態を作ることが出来る放電器です。

6A放電、極性指定なし、また通常使用の場合は、ランタイム：~6%UP、電圧：1~2.5%UP、内部抵抗：~17%軽減する事が可能です。

DSD-EXディスチャージャーには、保管に便利な積み重ね用の金属製ポストが付いています。アッパープレートの四隅にある3mmホールの下側から3X6ビスを通し上部に金属製ポストを取り付けます。（4箇所同じ様に）取り付け後は、ユニット同士重ね付属のクリップで固定してください。

ご使用前に

注意：デッドショートにはリスクが伴います。よくご理解された上でご使用ください。

バッテリーや使用方法によっても異なりますが、デッドショートによりバッテリーの放出性とバッテリー電圧を高める事が出来る反面、一般的には放出容量は減ります。また、通常使用の場合と比較するとバッテリー自体の寿命も短くなります。

よって、これらを犠牲にしても放出性を重視したい様なレースに適しています。

また、耐久性の弱いバッテリーによっては初めてのデッドショートで使えなくなる物もあります。

<<NI-CDと最新のGP3300に対してのアメリカで主流な放電方法（デッドショート）>>

※デッドショートは、NI-CDと最新のGP3300以外のバッテリーにはお奨めできません。

1. バッテリーをDSD-EXディスチャージャーに取り付けます。 バッテリー残量によって異なりますが、ランプが点灯し放電を開始します。
2. 放電が進むにつれてランプが暗くなります。
3. ランプサインが消えたら第一放電は完了です。 走行後などで残量の少ないバッテリーに対して作業を行う場合はランプサインがすぐに消えてしまう場合もございます。（6A放電の為）
4. バッテリーをDSD-EXディスチャージャーから取り外さずに2時間放置してください。その後、バッテリーを取り外し、バッテリーのプラス極とマイナス極をシリコンコードでつなぎデッドショート完了です。
5. 1週間から4週間休ませて充電してください。充電の際は、新品のバッテリーに見られる様な不規則なデルタピークカットを何度も起こしますが、満充電になるまで再スタートを繰り返してください。この事で、最高の放出性と電圧が得られます。

\*バッテリーを壊すリスクを少なく、電圧を高める方法。（NI-CDと最新のGP3300バッテリーに限る）

デッドショートよりもリスクを軽減した電圧アップの方法として第一放電完了後バッテリーをユニットにのせたまま1週間保管する方法があります。（この時、7.2Vファン用補助バッテリーは取り外します。）

この方法に関してもバッテリーによりリスクを伴いますので1週間以上の放置はお止めください。

<<通常のNI-MH（最新のGP3300バッテリーは除く）の放電>>

1. 保管しておいたバッテリーをDSD-EXディスチャージャーに取り付けます。バッテリー残量によって異なりますが、ランプが点灯し放電を開始します。
2. 放電が進むにつれてランプが暗くなります。
3. ランプが消えたら、放電は完了です。 完了後バッテリーをユニットから取り外してください。
4. バッテリーが熱を持っている場合は、十分冷ましてから（放電後30分してから）充電してください。
5. 保管する場合は、ユニットから取り外し1週間から2週間休ませて充電してください。

<<通常のNI-CDと最新のGP3300の放電>>

1. 走行後のバッテリーをDSD-EXディスチャージャーに取り付けます。バッテリー残量によって異なりますがランプが点灯し放電を開始します。
2. 放電が進むにつれてランプが暗くなります。
3. ランプが消えたら、放電は完了です。完了後バッテリーをユニットから取り外し保管してください。
4. バッテリーが熱を持っている場合は、十分冷ましてから（放電後30分してから）充電してください。
5. 保管する場合は、ユニットから取り外し1週間から2週間休ませて充電してください。

☆その他、ご質問等がございましたらイーグル・サービスカウンター 0532-61-1554までお気軽にお問い合わせ下さい。

# #2292

# DSD-EX Dead Short Discharger

この度は、イーグル・DSD-EXディスチャージャーをお買い求め頂きまして誠に有難うございます。

バッテリー電圧を引き上げるための放電方法であるデッドショート（放出性とバッテリー電圧を高める放電方法）を行う状態を作ることが出来る放電器です。

6A放電、極性指定なし、また通常使用の場合は、ランタイム：~6%UP、電圧：1~2.5%UP、内部抵抗：~17%軽減する事が可能です。

DSD-EXディスチャージャーには、保管に便利な積み重ね用の金属製ポストが付いています。アッパープレートの四隅にある3mmホールの下側から3X6ビスを通し上部に金属製ポストを取り付けます。（4箇所同じ様に）取り付け後は、ユニット同士重ね付属のクリップで固定してください。

ご使用前に

注意：デッドショートにはリスクが伴います。よくご理解された上でご使用ください。

バッテリーや使用方法によっても異なりますが、デッドショートによりバッテリーの放出性とバッテリー電圧を高める事が出来る反面、一般的には放出容量は減ります。また、通常使用の場合と比較するとバッテリー自体の寿命も短くなります。

よって、これらを犠牲にしても放出性を重視したい様なレースに適しています。

また、耐久性の弱いバッテリーによっては初めてのデッドショートで使えなくなる物もあります。

<<NI-CDと最新のGP3300に対してのアメリカで主流な放電方法（デッドショート）>>

※デッドショートは、NI-CDと最新のGP3300以外のバッテリーにはお奨めできません。

1. バッテリーをDSD-EXディスチャージャーに取り付けます。 バッテリー残量によって異なりますが、ランプが点灯し放電を開始します。
2. 放電が進むにつれてランプが暗くなります。
3. ランプサインが消えたら第一放電は完了です。 走行後などで残量の少ないバッテリーに対して作業を行う場合はランプサインがすぐに消えてしまう場合もございます。（6A放電の為）
4. バッテリーをDSD-EXディスチャージャーから取り外さずに2時間放置してください。その後、バッテリーを取り外し、バッテリーのプラス極とマイナス極をシリコンコードでつなぎデッドショート完了です。
5. 1週間から4週間休ませて充電してください。充電の際は、新品のバッテリーに見られる様な不規則なデルタピークカットを何度も起こしますが、満充電になるまで再スタートを繰り返してください。この事で、最高の放出性と電圧が得られます。

\*バッテリーを壊すリスクを少なく、電圧を高める方法。（NI-CDと最新のGP3300バッテリーに限る）

デッドショートよりもリスクを軽減した電圧アップの方法として第一放電完了後バッテリーをユニットにのせたまま1週間保管する方法があります。（この時、7.2Vファン用補助バッテリーは取り外します。）

この方法に関してもバッテリーによりリスクを伴いますので1週間以上の放置はお止めください。

<<通常のNI-MH（最新のGP3300バッテリーは除く）の放電>>

1. 保管しておいたバッテリーをDSD-EXディスチャージャーに取り付けます。バッテリー残量によって異なりますが、ランプが点灯し放電を開始します。
2. 放電が進むにつれてランプが暗くなります。
3. ランプが消えたら、放電は完了です。 完了後バッテリーをユニットから取り外してください。
4. バッテリーが熱を持っている場合は、十分冷ましてから（放電後30分してから）充電してください。
5. 保管する場合は、ユニットから取り外し1週間から2週間休ませて充電してください。

<<通常のNI-CDと最新のGP3300の放電>>

1. 走行後のバッテリーをDSD-EXディスチャージャーに取り付けます。バッテリー残量によって異なりますがランプが点灯し放電を開始します。
2. 放電が進むにつれてランプが暗くなります。
3. ランプが消えたら、放電は完了です。完了後バッテリーをユニットから取り外し保管してください。
4. バッテリーが熱を持っている場合は、十分冷ましてから（放電後30分してから）充電してください。
5. 保管する場合は、ユニットから取り外し1週間から2週間休ませて充電してください。

☆その他、ご質問等がございましたらイーグル・サービスカウンター 0532-61-1554までお気軽にお問い合わせ下さい。